



教会短信

2010年12月12日

No. 36

牧師 間瀬 善彦

「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生まれになった。このかたこそ主なるキリストである」(ルカによる福音書2章11節)。

クリスマスが近づいてまいりました。皆さん、今年はどうのようにクリスマスを祝われるでしょうか。日本でもクリスマスがしっかり定着し、いろいろな方法で華やかに祝われるようになってきました。

ところで、クリスマスとはいったいどんな日なのでしょう。クリスマスと言えば、12月25日です。しかし、必ずしも12月25日が、イエス・キリストの誕生日とは言えないようです。なぜなら、聖書のどこを読んでもキリストが12月25日、または24日の夜中に生まれたという記事はないからです。そのために、初期の教会では、さまざまな日に祝われていました。ロシアやギリシアでは1月6日がクリスマスとして守られていました。4世紀頃に西方教会(ローマ・カトリック)と東方教会(ギリシア正教)とが話し合い、12月25日がキリストの生まれた日とされたのです。

そうすると、12月25日という日に祝うということ——本当の誕生日が12月25日かどうかということよりも、キリストがこの世に誕生されたということの方に重要な意味があるのです。

では、もう一度考えてみましょう。クリスマスとはいったいどんな日でしょうか。それはわたしたちの救い主(キリスト)として、ユダヤ(イスラエル)のベツレヘム(ダビデの町)という村に、幼児イエスが来てくださったのです。このことを喜び、このキリストをわたしたちの救い主として心の中に迎える日なのです。ですから、わたしたちがこのイエスを自分の救い主と信じ、心の中に迎える決心をすることができたら、12月25日でなくても、クリスマスはいつでも祝えるはずです。

教会では、12月24日地域の方たちと共に、イエスのご降誕を祝い、イヴ礼拝をささげます。どうか、今年のクリスマスは、世界中の人びとが自分の救い主がお生まれになったことを喜び祝う時として、豊かに過ごされるようにとお祈りいたします。

アドベントに思うこと

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

わたしの助けはどこから来るのか。

わたしの助けは来る

天地を造られた主のもとから。

(詩編 121 編 1-2 節)

クリスマスを迎える季節となりました。教会ではクリスマス前の4週間をアドベントと言い、イエス・キリストのご降誕を待ち望みながら準備します。教会の玄関には大きなツリー。7人がかりで飾り付けをしました。礼拝堂の正面にはリース。そしてグランドピアノの上にはアドベントクランツ。みなさんはこのアドベントクランツをご存知ですか？

壁にかけるリースを横に寝かし、4本のろうそくを立てたものを想像してください。アドベントの期間中、日曜日ごとに1本ずつろうそくを灯していきます。4本目のろうそくに火が灯ると、いよいよクリスマスです。こうして今年もクリスマスを迎えられることを感謝しています。

病のある私は体調が良い日もあれば、痛みや倦怠感にひたすら耐えて一日を過ごすこともあります。病状が深刻でも、体調が良ければ笑顔も多く、気持ちも前向きです。あれもやろう、これもやろうと、ちょっと頑張りすぎたり、病は癒やされると信じ、治療に立ち向かえたりします。「神様、ありがとうございます」と、感謝の祈りも忘れません。でも苦しいときは、心も弱ってしまいます。病気が治るとはとても思えず、思い悩み、もしもの時のことも考えてしまいます。そんなときは夜中に目が覚めると、不安に襲われて眠れなくなります。また病院での検査結果にも一喜一憂です。結果が悪いと、すぐに気持ちが乱れます。私の生来の楽観的な性格など全くあてになりません。ただ神様に「共にいて下さい」と祈るだけです。

日々、教会の友の祈りに支えられ、友人に支えられ、家族に支えられています。病でも幸せです。運が悪いとは思いません。人生には病だけでなく、いろんな困難があります。困難を与えられたときでも、「神様にはお考えがある」と信じて聖書の言葉を読み、祈ります。こうして神様に委ねて、何とか受け入れます。

体調の悪い時、検査結果が悪い時、失望し光を見失ってしまいます。アドベントクランツのろうそくの灯りに、闇の中でも光を見せて下さるイエス様を思います。そのイエス・キリストをお遣わし下さった神様に感謝してクリスマスを過ごしたいと思います。

『平和をつくるものは幸いです。
その人たちは神の子どもと呼ばれるから』

(マタイの福音書 5章9節)

キリストは「平和の君」とも呼ばれます。紛争や殺人を伝えるニュースが絶えない世の中ですが、キリストはこの世界を苦しみも悩みもない状態へ変える準備を進めています。そしてキリストを信じ、平和を実現する人は神の子と呼ばれるという約束が聖書には記されています。家庭や職場、学校で平和をつくろうとすれば、厳しい状況に出会うこともあるでしょう。そんなときは、この言葉を、ぜひ思い出してみてください。
(「聖書の品格」いのちのことば社 より引用)



クリスマス

12月19日(日)

10:30 クリスマス礼拝

12:30 クリスマス祝会

12月24日(金)

19:00 クリスマスイヴ礼拝

朗読 O・ヘンリー「賢者の贈り物」 青木利津子
キャロリング

2011年

1月1日(土) 11:00 元旦礼拝

1月2日(日) 10:30 新年礼拝

どうぞ、どの集会にもご参加ください。お待ちしております。